

災害時連絡体制構築

333-C 災害支援委員会
2025年7月1日

P02 階層化された即時アラートネットワークを構築

P03 アラートネットワークの構築

P04 災害発生時のワークフロー

P05 ミテルライフの主要機能

P06

P07

P08

P09

P10

別紙



**STEP 01****階層化された即時アラートネットワークを構築**

電話・SNS・メールでの連絡が混在し、情報の錯綜や混乱が生じる現状を開拓するため、一切の中継口スなく全国規模で迅速な状況把握と情報共有を実現することを目的に災害時緊急連絡網を構築する。このネットワークは、「誰が何をすべきか」を明確化し、正しいワークフローを設定するために階層化する必要がある。例えば単位クラブのLCアラートとキャビネットアラート、キャビネットアラートと複合地区のアラート、複合地区のアラートと日本ライオンズのアラート、のように階層化を行う。

**STEP 02****情報共有をはじめとした単一クラブ内の運営支援とキャビネット連携**

相互連絡、安否確認、SOS、グループトークなどの機能を有するアプリを活用してお知らせを送信してメンバー毎の既読確認、例会やアクティビティの参加可否を集計、ペーパーレスでクラブのDX化を図る。これは単一クラブだけでなく、キャビネットを含めた地区内のクラブが参加することで情報伝達ネットワークとなり、災害時に限らない情報共有プラットフォームとして機能する。

**STEP 03****地域のあらゆる団体との連携で奉仕の受益者拡大と会員増強**

ライオンズクラブが持つ地域、および行政との結びつきと信用を基に、地域の社協やボランティア団体、自治会等にライオンズの情報伝達ネットワークに参加してもらい、活動のPRを直接届けると共に、奉仕活動を協働することで規模と範囲を拡大する。一緒に活動する方々の中から新規会員としてお誘いするチャンスも拡大する。

アラートネットワークの構築

STEP 01

第1階層



第2階層



第3階層



アラートネットワーク参加対象者

(第1階層) 複合地区

- ・日本ライオンズアラート委員
- ・複合地区議長・会計
- ・複合地区アラート委員

(第2階層) 地区キャビネット

- ・地区ガバナー
- ・キャビネット会計
- ・アラート委員

(第3階層) 単一ライオンズクラブ

- ・会長
- ・会計
- ・LCアラート

災害発生時のワークフロー

被災地域

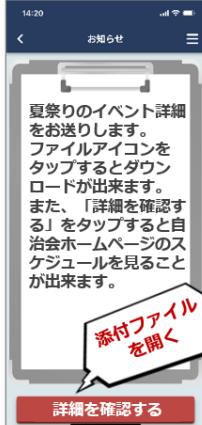
	誰が	何を	いつまで	備考
災害発生	第2階層（地区アラート）	地区内全クラブに安否確認発信	0～30分	アプリで一斉送信し、すべてのメンバーが回答
		単一クラブ毎の安否回答結果確認		
	第3階層（LCアラート）	自クラブ内の安否回答結果確認		
初動会議	第1階層、第2階層のアラート	被害の範囲による対応範囲決定（地区内or複合地区）	30分～1時間	グループトークで会議し、決定した対応範囲を全ての階層に一斉送信
情報収集	第3階層（LCアラート）	メンバーから地域の被災状況を収集	1～3時間	グループトークで情報収集
	第3階層（LCアラート）	情報を集約して第1階層、第2階層のアラートに状況報告		グループトークで状況報告 ※このグループにはLCアラート・地区アラート・MDアラートの全員が参加
支援要請	第2階層（地区アラート） ※広域の場合は第1階層(MD)	支援物資要請を支援地域の同一階層に送信	3～6時間	
中間情報収集	第3階層（LCアラート）	メンバーから変化した状況を収集し、上位階層に報告	1日後	
中間報告	第2階層（地区アラート） ※広域の場合は第1階層(MD)	収集した情報を支援地域の同一階層に送信		

被災地域

	誰が	何を	いつまで	備考
災害発生	第2階層（地区アラート）	第3階層（LCアラート）に準備要請	0～30分	
初動会議	第1階層、第2階層のアラート	被災地の初動会議の決定を受け、支援を行う地域を決定し対象地域に送信	30分～1時間	
支援調整	第2階層（地区アラート） ※広域の場合は第1階層(MD)	支援物資要請を受け、対象階層内で物資提供の調整を実施、結果を対象クラブへ送信	6時間～翌日	必要な支援物資を対象の階層で共有し、提供者、運搬者、物資搬入先を調整して実行
中間会議	第2階層（地区アラート） ※広域の場合は第1階層(MD)	被災地から受けた中間報告を精査、調整し、支援に反映	1日後	

ミテルライフの主要機能

Key Features of Metell LIFE



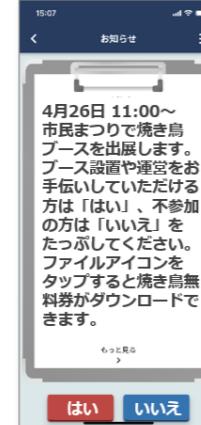
機能

- 特定のグループや一斉送信が選択可能
- お知らせ、回覧板等のファイルを送信
- URLを送ってWebサイトへ誘導
- ZoomID等の送信でOnline会議
- 個人別に既読未読が確認可能

効果

- 漏れのない情報共有
- 組織運営の工数削減
- ペーパーレス化で経費削減

お知らせ



機能

- 災害時の安否確認
- 総会やイベント等の出席確認
- 議題の賛否集計
- 特定のグループや一斉送信が選択可能
- 参考資料等、ファイルを送信
- 個人別に回答結果を集計

効果

- 迅速な安否確認
- 的確なニーズ把握

アンケート



機能

- 任意のメンバーで会話
- トークグループは管理者が作成
- 写真やファイルの送受信

効果

- 各委員会等で会話が活発化
- 全てのグループで三役等の管理者が参加することで荒れを防ぐとともに、管理者が俯瞰で状況を把握可能

トーク



緊急通報

SOS

機能

- 緊急時に家族や仲間にSOS発信

効果

- 急な体調変化で救援依頼
- 災害時の救援依頼
- 認知症家族の行方不明時に地域コミュニティに捜索依頼

緊急通報

ミテルライフだけの機能

個人が複数の組織とつながり、組織が他組織と任意で有機的につながる機能を有する。
これにより地域全ての個人と組織が同一のプラットフォーム上で連携可能となり、巨大な情報連絡網となる。